



ココロねっこ運動20周年



家庭や地域など、生活の中で実践できる取り組みを「ココロねっこ10」として10項目にまとめた。

家庭では

- 1 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを確立させましょう。
- 2 毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族の絆を深めましょう。
- 3 学校・PTA行事や地域行事に、すんで参加しましょう。
- 4 親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

保育所・幼稚園・学校では

- 5 楽しい遊びや学び、わかる授業を展開し、たくましく生きる力を育みましょう。
- 6 いじめや仲間外しがなく、安心して園・学校生活を送れるようにしましょう。

地域では

- 7 あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。
- 8 子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。

企業では

- 9 「ノーマル残業」を設定し、家族のだんらんを応援しましょう。
- 10 学校・PTA行事や地域行事に参加しやすい雰囲気や態勢を整えましょう。



ラジオ体操後の集合写真。地域の人の見守りのもとで行われた＝大村市木場1丁目、旭が丘小

毎月第3日曜日は「家庭の日」



その中の一つ、「愛の手掛け運動」の一環として行っている「ワンワンパトロール」は、ペットを飼っている住民が愛犬の散歩の時間を活用して地域の子どもたちの登下校を見守るといった活動だ。普段の暮らしから、あざなや見守りを通して地域のつながりを強めていくことを目的としている。「動物と触れ合うことで子どもたちの心も育ち、パトロール隊の存在によって、犯罪の抑止力にも役立つ」と、田中さん。いざというときに備えて、子どもが助けを求めて飛び込む「子ども110番の家」や「おまわりさん」を実施し、場所の確認や家の人との交流を深める取り組みも進められている。

子ども心の根っこを育てるため、大人のあり方を考える「ココロねっこ運動」は、2001年度に始まり、今年で20周年を迎えた。周囲から大きな影響を受けて育つ子どもたち。子どもの減少、人と人とのつながりの希薄化など、子ども・子育てをめぐる環境が変わりゆく中、子どもたちの健やかな成長を支えるために長年活動が続いている人に話を聞いた。

大村市の「運動仕掛け人」である田中まり子さんは、長年にわたり大村市でココロねっこ運動を推進してきた中心人物で、啓発活動やイベントのいわば仕掛け人。「子どもはたくましく育つためには、体験と多くの出会いを通して、夢や感動、思いやり、感謝の心を育んでいく。学校区青少年健全育成協議会の純粋無垢な子ども心を汚さないようにしたい」と話す。

「ココロねっこ運動」は、大村市で地域活性化の輪が広がり、地域ぐるみで子どもを守ろうという機運が高まる。ぜひ多くの方登録を呼び掛ける。PRのためのパンフレット、帽子、ポスターなどのグッズも購入できる。問い合わせは長崎県青少年育成課（電話095・824・7510）。

ココロねっこ新聞

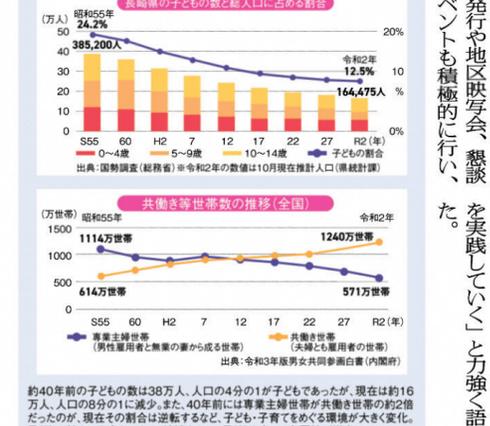


「ココロねっこ運動」は、誰でも身近な取り組みから始められる。県では運動に登録する個人団体を募集し、2021年8月末時点で608団体の団体・個人が登録。近所の子どもへのあいさつ、PTAの行事参加、家庭内での取り組みなど、簡単なことから登録できる。県は登録者が増えることで、運動の輪が広がり、地域ぐるみで子どもを守ろうという機運が高まる。ぜひ多くの方登録を呼び掛ける。PRのためのパンフレット、帽子、ポスターなどのグッズも購入できる。問い合わせは長崎県青少年育成課（電話095・824・7510）。

安心なお産に向け 分娩前PCR検査に助成

県は、新型コロナウイルス感染症に強い不安を抱える妊婦に対し、分娩前PCR検査等の費用の助成を行っている。検査は出産予定日の概ね2週間以内、県内の分娩予定の産科医療機関にて、無料で受けられる。もし感染が確認された場合は、保健師等による家庭訪問や電話相談も受けられる。問い合わせは、県子ども家庭課（電話095・895・2445）。

子ども・子育てをめぐるデータ



子どもたちへの物品の寄付を募集

経済的に大きな困難を抱えているご家庭への支援として、食生活や日用品などの生活必需品、学用品などを皆様の寄付を募集しています。問い合わせは、ひびの親家庭福祉会（電話095・828・1470）。

妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない支援

子育て応援の店

地域ぐるみで子育てを応援する「ながさき子育て応援の店」。小学生以下の子どもがいる子育て家庭が対象です。①長崎県内にお住まいのご家庭 ②小学生以下のお子様がいるご家庭

店舗によって様々なサービスを受けられます。目印のマークがある店舗でサポート画面を店頭で掲示すると、お得な割引サービスや、施設利用サービスなどがご利用いただけます。

すまいるサービス、とくとくサービス、多子世帯へのサービス

発達障害支援に特化した子育て支援センター

長崎インクルージョン子育て支援センターは、発達障害のある子どもやそのご家族への支援に特化した施設です。三芳町にオープンした発達障害支援に特化した施設は、県内唯一のセンターで、障害の有無を問わず、発達障害のある子どもやご家族への支援を行っています。

「遊びを通して豊かに成長する」ことを基本に整備されており、広々と開放的な空間で、子どもたちが安心して遊べる環境を整えています。

子育て世代 包括支援センター

昨年10月から雲仙市でスタートしたのは、子育て世代に対する総合的な相談窓口。目指すのは、妊婦から出産、子育てにかけての切れ目ない支援です。健康相談への意識が大きく変わったことで、健康相談への問い合わせも増加しています。

市役所に妊婦を出す行政のサービスやサポートを受け取ることで、子育てや家庭内児童相談員、母子・父子自立支援員などが支援を展開しています。

こんなサポートもあります

不妊治療費の助成制度

詳しくは 長崎県 特定不妊 検索

ながさき子育て応援の店 コロンパスポートでお得な子育てライフを

「ながさき子育て応援の店」にてパスポートを掲示していただくことで、各店舗が提供しているお得な子育てサービスを受けることができます。

小学生以下のお子様がいる子育て家庭が対象です

①長崎県内にお住まいのご家庭 ②小学生以下のお子様がいるご家庭

パスポートはデジタルでもとっても便利!

デジタルだからお家に忘れる事もなく、スマホや携帯電話をサッと取り出すだけでご利用いただけます。ココロンネットにアクセスし、パスポートの交付をお申込みください。

長崎っ子のためのメディア環境協議会 長崎市桜町4-1長崎商工会館9階 TEL095-824-7510

親子の育ちを応援し、よりよい子育て社会を目指します。

フリーマガジン「ココロン」 年3回発行。県内幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援センター、小児科などで配布しています。

「ココロンネット・アプリ」 http://www.nagasaki-kosodate.jp